

科目名	社会政策Ⅱ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			総合政策学部	□必修 ■選択
英文表記	Social PolicyⅡ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
			開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	きむら きよし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	木村 澄	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	社会政策の本質と発展を概観しながら、社会保障制度の具体的適用を学びます。			
到達目標	社会政策の生成と理論を理解したうえで、社会保障法や労働問題に関するさまざまな制度を概説できるようになること。そして、社会政策にまつわる諸問題を読み解き、職業生活と人生において活かせるようにすることを目標とします。			
授業概要	<p>病気、けが、障がい、妊娠、出産、失業、死亡、超高齢社会における年金や介護、さらには仕事にまつわる諸問題は、すべての人々にとって重大な日常生活上の事柄です。社会政策は、これらの諸問題に対する国家の行う対応策であって、社会の変化に対応しながら生成・発展をとげてきました。</p> <p>本講義では、社会政策の本質論と社会保障法の発展を概観しながら、日本における社会保障制度の具体的な適用を見ていくこととします。</p>			
授業計画				
第1回	年金保険制度(1): 年金制度総論: チョン・ジェウン『蝶の眠り』を観る			
第2回	年金保険制度(2): 「国民年金」と「厚生年金」			
第3回	労働者災害補償保険制度(1): 「業務災害」と「通勤災害」: 『ダンダリン 労働基準監督官』を観る①			
第4回	労働者災害補償保険制度(2): 保険給付の種類①			
第5回	労働者災害補償保険制度(3): 保険給付の種類②: 『ダンダリン 労働基準監督官』を観る②			
第6回	雇用保険制度(1): 保険給付の種類①			
第7回	雇用保険制度(2): 保険給付の種類②			
第8回	雇用保険制度(3): 保険給付の種類③			
第9回	介護保険制度(1): 介護保険法総論: 葉真中頭『ロスト・ケア』を観る			
第10回	介護保険制度(2): 介護サービスの種類①			
第11回	介護保険制度(3): 介護サービスの種類②			
第12回	社会政策の本質論(1): アドルフ・ワグナーの理論、グスタフ・シュモラーの理論			
第13回	社会政策の本質論(2): ルヨ・ブレンタノの理論:			
第14回	社会政策の本質論(3): 大河内一男の理論、森耕二郎の理論			
第15回	社会政策の本質論(4): 岸本英太郎の理論			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前に前の回で配付したプリントとノートに必ず目を通しておいてください。 2. 確認の小テスト(クイズ)を2回行います。復習をしっかりと行ってください。 3. 新聞やテレビのニュースで社会保障や労働問題に関する出来事に関心を持ってください。 			
履修条件 受講のルール	後期開講科目の「労働法Ⅱ」を履修しながら、この「社会政策Ⅱ」を受講することを推奨します。「労働法Ⅰ」・「社会政策Ⅰ」の単位を修得していない場合は、翌年度に履修することを推奨します。「社会政策」と「労働法」は、「社会法」と呼ばれる同じグループの学問です。			
テキスト	講義の際にレジュメや関係資料を配付します。			
参考文献・資料	日本テレビ製作『ダンダリン 労働基準監督官』、チョン・ジェウン『蝶の眠り』、葉真中頭『ロスト・ケア』、柏木ハルコ『健康で文化的な最低限度の生活』他			

成績評価の方法	<p>【定期試験（60％）、小テスト（25％）、主体的学びの姿勢（15％）】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テスト（クイズ）を実施し、直後にフィードバック（答え合わせ）を行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	<p>毎週火曜日 14：40～16：10・木曜日 14：40～16：10 ※これ以外の時間帯でも可能な限り対応します。</p>
成績評価基準	<p>秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（0～59点）</p>
学生へのメッセージ	<p>皆さんの将来の職業生活において必ず役に立つ科目です。 「わかる・できるようになる」に向けて、「主体的な学び」の姿勢を大切にしましょう。</p>